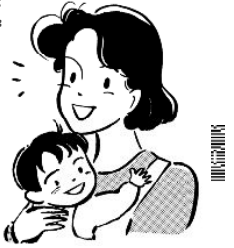


昨日の記者会見では、2時間程度の全体集会是午後1時半から、その後敦賀市内の行進も行うこと、午前9時半からはサブ企画として、演劇などの文化行事も同じ会場で行われることも発表されました。



呼びかけにこたえて あなたも賛同人に

「3.11さよなら原発福井県集会inつるが」 開催と賛同人を呼びかけ

昨日19日、14名のよびかけ人を代表して、山本富士夫氏らが記者発表
 県民のみなさんへの訴え



1月19日、県庁で記者会見に臨む山本、佐藤、平野の各氏(左から)

みなさん、経済不況、消費税、社会保障・福祉の切り下げ、沖縄米軍基地、実態は収束とは程遠い福島第1原発事故の現状と漂流する住民、それでも原発再稼働や増設を叫ぶ人々。

難題山積みの激動の情勢の中で、わたしたちは3月11日の福島第一原発事故から1年目の日に敦賀市で多くの福井県民が集まり

「さよなら原発」の思いを話し合い世論に訴える「3・11さよなら原発福井県集会inつるが」の開催を決め呼びかけ人として立ち上がりました。

世界一の原発集中立地の福井県では、立地地域であるがゆえに反対や抗議の意思表示が許されない現状が、議会や首長の発言から重く響いてきます。政府・経済産業省は、原発の稼働を40年を上限に制限するといいいながら最長60年まで延長可能な特例を認め、ストレステストの審査を進めて再稼働への道筋を急ぐなど原発推進政策を変えていません。

いま大切なことは、福島第1原発事故を繰り返さないために「全ての原発とさよならする決断」です。だからこそ、原発集中自治体の敦賀市で県民の声を集めて「さよなら原発」の国民的行動として取り組むことに大きな意義があります。

ぜひ、「3・11さよなら原発福井県集会inつるが」へのご参加とご協力を福井県民のみなさんに訴えます。

1. 全ての原発とさよならする決断を。
2. 高速増殖炉「もんじゅ」を今すぐ廃炉に。
3. 40年を超える老朽化原発の運転を再開せず廃炉に。

以上

呼びかけ人(第一次)

- 小畑 昭八郎 (小浜市・詩人)
- 佐藤 辰弥 (弁護士)
- 島田 広 (弁護士)
- 嶋津 弘隆 (弘誓寺後継住職)
- 白崎 良典 (光照寺住職)
- 杉原 厚子 (敦賀市・自然と環境を考える会)
- 坪田 嘉奈弥 (敦賀市・元高校教諭)
- 西山 秋蘭 (書道家)
- 平野 治和 (光陽生協病院院長)
- 松原 未胡 (川柳作家)
- 菱輪 秀邦 (仁愛大学名誉教授)
- 森 透 (福井大学教授)
- 屋敷 紘美 (元J A福井市部長)
- 山本富士夫 (福井大学名誉教授)



呼びかけ人3氏と会見に同行した事務局メンバー林、福石の両氏

事務局(当面)

- 小木曾美和子 (原発反対福井県民会議) 090.8966.2569
- 林 広員 (原発問題住民運動福井県連絡会) 090.8263 Fax 0776.25.6793
- 福石 みる (福井みんの福井市レポート) 090.2370.0405

切り取って地区委員会や県委員会に届けてください

賛同用紙

お名前・団体名
 所属または肩書き (よろしければお書き下さい)

※お名前、肩書き等の公表の可否 (可・否)

ご住所
 電話番号
 メールアドレス

※もしよろしかったら、ご協力下さい
 賛同金 (個人一口1,000円、団体一口5,000円以上) 円
 賛同メッセージ